

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月4日作成)

小委員会名	鋼構造接合小委員会		主査名：山田 哲 就任年月：2017年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主査名：井戸田秀樹
設置期間	2017年4月 ～ 2021年3月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鋼構造建築物の接合部（溶接接合，高力ボルト接合，柱梁接合部，継手，ブレース端接合部，柱梁接合部パネル，柱脚）に関する最新の研究ならびに開発技術の調査・分析を行い、それらの成果を公表することによって，合理的な接合部設計に関する指針を構造設計者に向けて発信する。</p> <p>初年度：『鋼構造接合部設計指針』第4版の改定内容の検討 『溶接接合設計施工ガイドブック』第2版の次期改訂内容の検討</p> <p>2年度：『鋼構造接合部設計指針』第4版の執筆 『溶接接合設計施工ガイドブック』第2版の次期改訂内容の検討</p> <p>3年度：『鋼構造接合部設計指針』第4版の執筆・刊行 『溶接接合設計施工ガイドブック』第2版の執筆</p> <p>4年度：『溶接接合設計施工ガイドブック』第2版の執筆・刊行</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：山田 哲（東京大学） 幹事：中野達也（宇都宮大学） 委員：吉敷祥一（東京工業大学），清成 心（清水建設），桑原 進（大阪大学），聲高裕治（京都大学），佐藤篤司（名古屋工業大学），軸丸久司（日建設計），鈴木直幹（竹中工務店），田中 剛（神戸大学），藤田哲也（日本設計），増田浩志（宇都宮大学），松本由香（横浜国立大学），横関耕一（日本製鉄）</p>		
設置WG (WG名：目的)			
2020年度予算	320,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s36	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 （年度内計画を含む） メール審議については頻繁に開催
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『鋼構造接合部設計指針』
講習会	1. 「鋼構造接合部設計指針」改定講習会【既刊本・期間限定オンデマンド配信】 参加者数 285名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 『鋼構造接合部設計指針』第4版を刊行した。</p> <p>2. 『溶接接合設計施工ガイドブック』第2版の次期改訂内容の検討については持ち越しとなった。</p> <p>3. 指針の刊行、溶接ガイドブックの改定作業のいずれも計画より遅れたが、改定内容は充実したものとなっており、小委員会の活動全体としては、それなりに目標を達成したと考えている。</p>

委員会活動の問題点
・課題

1. 2020年度はコロナ禍のもと、刊行に向けた校正等、担当委員で取り組むべき事案が活動の中心であったことから、各大学で実施されているオンライン講義での通信安定性を鑑み、ネットワークになるだけ負荷を掛けないよう、オンラインでの小委員会開催は行わず、都度メール審議により小委員会の活動を進めた。来年度以降、コロナ禍の状況なども踏まえてどのように活動していくかは時々の状況に応じて検討していく必要がある。